事 実

職員

出

席

ただきまし

令 務施こ和令 しの

て研年

学り、今年は、県内四十四全ての市 会は当協会における重要行事で、 消防団長研修会を開催しました。

市

から 茨

町毎

村年

が県との

長共

及催

V. で

城

一年七月一年七月

和

月

七 日

水

に日立

市 0

国

民

宿

舎

鵜

0

岬

に

お

1)

7

葉梨会長あいさつ



井上消防安全課長あいさつ

の事 を守る」 菊業次 地部 に 真 ア ラ をテー 衣ナ ッ ゥ 丰 先 ン 1 生 マとして、 サ F に 1 Μ 「ラジ 室 茨 城 長 で 放 ラジ 才 防 送 で 災編 オ 命士成

お催

待

ちし

ております。

予来ま

度

は、

央支部を会場に

す

定年

で

す

0

で、

多く

のご参

加

を 開 げ部協

6・7月号 発 行 所

編集発行人 印刷所 侑堀 口 印 刷 1部 15円

水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内 公益財団法人茨城県消防協会 消防協会長 葉 梨 購読料は負担金に含まれています

とワ て

Ź.

チ

ン 型 救

0 コ

効

果、 ナウ

副 1 1

に

おつ染貢

をテ

1

マとし

て、

玉 反応

生 タ で

に 1 あ 研

新

口

ル 0

ス感

救 る 修

セン

夕 構

命国

急病

で

最

初

統

立は、

水県

戸医

安医療

セ 括

田療

院

ワ る

ク

接

種

効果や進

涉状况、 まで

のの

験 通

やし

知見を

これ

のご自

を踏まえた大変

経 見 チ 新

型

コ

 \Box

ナウイル

スの

感染状况、 内に

意身後 義 な講 演 でを行 ってい ただきま



安田 貢先生講演

な お忙 安 引し 田 きい先 中生 に いも 菊 地 わ 先 き、 5 生 ず に 大快は 変有 き < 講 変 意 師

をお

警 力 り ま た、 防 がとうござ お 15 ただき 話をおり 課 職 今 回 員 ました日立 0 聞 0 いま 皆 研 かた関 修 せだ 様 会の した。 に 1, ただ 感 謝 市 開 申消 催 にご 防 誠 し 上 本

あ



真衣先生講演 菊地

行さ通番 れじ 組 つ ることな て て 感じ 1,5 ただきま たこと 0 チ 力 に L や ラ た。 つ 消 15 防 で 寸 て 0 に取 期 演 材 を 待 を

そ

0

ため

昨年度は、

早

急

な

避

難

が

ことに

ょ

り、

早

15

段

階

で多

く

避

所

な

開

必要性が

高

思まり、

澼

所 設

開設 以する必

運営でのマン

を発令することになります。

この

つくばみらい市

避 ある全 に で多くの災害が発生しておりま 水帯によるゲリラ豪雨など、 不 は、 足 難 体制にて対応に当たりましたが、 近 令 が 和 年 所 を生じ での ての 元年十 は、 くばみら ました。 対応などマンパ 澼 台 難 -月の台風十九号の際 風 所を開設 0 大型 1) 市では高台に 化 . や線 ワー 全職 全国 状 ず。 降

勧告 実 ルパ 力し 所 高 廃 準 基 開 齢者等避 避難 止となり、 年 1 本 L 設 備 しまし の を目指 0 テ 法 タイミングで 所 Б. 1 の 高 た。 開 月二十 シ 難 齢 設訓練を行 部改 3 すため、 者等避 これまでの 0 日 正 組立 からは災 に 難 避 避 消 伴 開 難勧告」 て作業を 防 1) 難 始 段ボ 寸 避 指 害 が 示 難 避 協 は 対

> え、 訓 員 令 ワ 和三 練を実施 1 消防団 運営の協力をすることとな 後は消防団も避難所開設に 不足が生じることになり 一年七月十七日 による合同避難 まし た。 主 に市 所開 ま り す 設



段ボールパーテンションの組立て作業



受付訓練







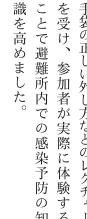
市の保健師によるレクチャー

す 隔 ン をあ ること 0 訓 け る対 練では、 組 け 立 策を で、 てや て 行 避 1 感 ボ 1) 難 染 テ 1 ま 者 1 防 ル L 同 シ 止 18 彐 士 0 1 ンを設っ 0 た テ んめ、 密 接 間 置

防

想定 法を確 図 ボ 付 合 りました。 1 手 ま ル 順 認 パ 対 応を実 U 避 参 1 加 た 調 難 テ り 者受 者 1 の 践 聞 同 シ 実際 3 するなど共有を き 付 士 ンヘ 取 で意見 訓 0 り 練 . の ケ 方 で 誘導 を出 は、 1 法 スを P 方 受 段

> る手 手袋の正 止 そ 洗い 対 0 7策とし 他、 しい外し方などの 方法や 難 参 U 所 加者が実際に体験 避 て、 内での感染予 難 - 感染を: 所 市 内 0 0 防 保 コ レクチ 健 口 防 た 師 ナ 0 す め 感 に ヤ 知 ょ る 1 0 染



...

(3)

○第

号議案

定時

令和二年度事業報告

理事・監事及び

)評議員

0 選任

加

藤

正

則

境

町

消

防

团

長

小

泉

直

紀

水

戸

市

消

防

局

長)

○第三号議案

令和二年度会計:

決算

一号議案

令 和 年 度 面 決 議

た。 示書 か か \Box 定予 ŧ ら B ナウ 原 定 時 令 各 書 さ 案どお が 評 和 提 1 議 面 議 れ 案に 員 年 出 決 ル 7 会に n 議 お さ ス 五. 感 同 と り 月 承 れ 認 し、 たため、 染 ま 意 つ $\overline{+}$ する旨 拡 15 L 全ての た令 大防 可 て 八 は、 決 さ 1) 0 止 和 ず 意 評 新 れ 0 観 見 議 型 年 ま れ 度 表 員 点 コ

日 金 に 事い臨のお 0 令が て 時選 15 令

令和三年度

茨城県消防協 役員等

役 和選 員 会理任 て 和 和三年五月二十八日度任されました。 は 長、 事 が 次のとおりで 会行理年 わ事 度 副 書れ 会 定 長面た監時 及決の事 評 を 議 議 Ŋ 受 専 日 員 評 専にけ、 現 議 会 在 理お 員 に

梨 衛 元 美 浦 村 消 防 寸

Ш 邉 嶋 岡 土 岡 田 田 山 和 勝 恒 夫 夫 清 彦 常 牛 行 笠 陸 久 方 間 大宮 市 市 市 消 消 消 市 消 防 防 防 防 寸 寸 引 团 長 長 長 長

大高 均 (茨城 禀 消防協 会事務局長

大槻

高

志

鉾

田

市

消

防

团

長

渡 長 勝 男 水 戸 市 消 防 寸 長

木

利

男

5

 \langle

ば

市

消

防

長

小

敏

司

高萩市消防

本部消防

葉 長

信 田 政 司 つく ば 市 消 防 寸 長

廣 菊 江 田 信 夫 夫 古 結 城 河 市 市 消 消 防 防 团 寸

堀 越 武 龍 崎 市 消 防 寸 長 長

小 野 或 光 北 茨城 市 消 防 寸 長

Ш

好

市

郎

常

総 岡

市

消

防

团

長

髙橋

周

宁

妻

市

消

防

寸

長

井

健

石

市

消

防

寸

長

長

岩 田 潔 久 取 手 市 消 防 团 長

住 根 谷 本 啓二 幹 士 那 潮 珂 来 市 市 消 消 防 防 寸 寸 長 長

酒 羽 野 井 島 幸 正 雄 (かすみがうら 桜 川 市 消 市 防 消 防団 寸 長 長

根 木 本 名 瀬 裕 成 東 小 美 海 玉 村 市 消 消 防 防 寸 団 長 長

藤 田 稔 天 子 町 消 防 団 長

仲 Щ 紀 男 阿 見 町 消 防 寸 長

松 本 明 夫 五. 霞 町 消 防 团 長

関 飯 嶋 由 冨 和 雄 (茨城西南広域消防本部消防長) 利 根 町 消 防 寸 長

井 池 坂 田 英 宏 雄 鹿 島地方消防本部消防長

、ひたちなか・東海広域 消防本部消防

長

髙橋 植 博 河 内 町 消 防 寸 長

長

Ш Ш 﨑 井 健 隆 義 土 \exists 浦 立 市 市 消 消 防 防 寸 寸

長

熊 佐 藤 代 正 信 明 照 常陸 高 萩 太 市 田 消 市消 防 防 团 团 長 長

塙 健一 (ひたちなか市 消防 寸 長

内 野 健 史 鹿 嶋 市 消 防 寸 長

塚 石 田 俊 和 夫 典 守 筑 西 谷 市 市 消 消 防 防 寸 耳 長 長

宮部 誠 坂 東 市 消 防 团 長

稲箸 青 野 浩 稔 神 稲 栖 敷 市 市 消 消 防 防 团 寸 長 長

浅野 了 (つくばみらい市 消 防 団 長

飯 Ш 幸一 茨 城 町 消 防 寸 長

谷田 部 公市 大 洗 町 消 防 团 長

森 田 宏二 城 里 町 消 防 团 長

松本 沢 木 博 清 司 志 美 八千 浦 代町 村 消 消 防 防団 团 長 長

星 宏 隆 日立市消防本部消防 長

鈴 木 和 德 浦 | 市消 防本部消防長

大関 岡 野 正 幸 勉 常陸太田市消防本部消防長 石岡 市消防本部消防 長

秋

山

龍

司

取

手市

消防

本部消防

長

Ш

直

紀

笠

間

市

消防本部消防

長

岡

秀

樹

多

 \mathbf{H}

市

茨城

市消防本部消防

長

岡

野

智

行

総地

方広

域

消

防

本部

消 防

長

月

Ŧi.

日

火

か

6

七

H

 \mathbf{H}

昭

彦

筑

洒

匟

域

消防本部消防

 \mathbf{H}

功

(大子町

消

防本部消防

長

井

豊

町

消防.

本部

消

防

長

事務

取

扱

原

道

鹿 行 浩

域

消防本部

消

防

長

事務

取

扱

坂

本

操

(稲敷広域消防本部消防

茨 城 消 防 塚 國 内 江 池

崹

幡

片 鈴 岡 木

防本部消

防

長

は時は

か

五大九

月

浩 陸大宮市 那 珂 市 消

消 防 本部消防

長

て

日

お分に

お分に(いかつ金

らい

校

に

て

かすみがうら市 修 消 防 本部消防 長

陽 休 茨 小美玉市 城 町消防 消防本部消防 本部消防 長 長

知

承め 開茨 催 城 て 詳 予 通 細 県 立同ら十四、日 定 で 消 す 防十消二学時防十 15 o 7

知に いつ さ し ま は、 す の後 で 日 ご改

令和三年度

編

後

記

和 年 度 慰 霊 十会日祭 に つ 11

としたの で お 知らせ ます

状

況

を

踏

ま

え中

止

す

るこ

令和 研 度 修 の

中

修 コ 木 会に ま 口 ナ で つき た令和 ゥ 実 イ 施 ま ル を予 ス し 年 0 て は 感 度 定 理 L 染 て 拡 新 事 型 研 お

オリジナル Tシャツ

消防グッズ各種

水戸スポーツ株式会社

水戸市袴塚1-1-2

TEL029[224]3450 FAX029[224]3430



れるデ 続いております。 染拡大が懸念され いる ワクチン接種が 然とし 今後 もの 理解の程よろしくお 一となる可能性 ル タ株が広 海い 申 の事業に の、 て新型 感染力 し上げ がっつ 徐 しもあ 5 々 ており、 口 ーナウ 15 て が ます。 9 て 1) 高進 な いとさ ます も変 、ること 願 多く 状 ル 更

全国シェアNo.1の消防車メーカー ㈱モリタの各種消防自動車

常に最新技術を反映して様々な災害 現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目

小型動力消防ポンプ・消防用ホース 救助資機材・潜水機材・消防用被服 防災用品・消防用品・消防資機材



茨城県代理店

有限会社

〒315-0014 石岡市国府5-2-25 TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

Panasonic

自動火災報知設備 非常電源設備 自家発電設備 CVCF設備 FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店

株式会社入江電機工業所

水戸市大工町2丁目3番23号 **310-0031** TEL,029-224-4614(代表) FAX.029-224-4613

土浦営業所

十浦市並木1丁目2番20号 TEL.029-821-8498(代表) FAX.029-822-6575

トーハツ漂ボンブ

VE90AS 最大量1.5m³每分 VC72PRO**Ⅲ** 操法最適 VF63AS 4ストローク B2級 VF53AS 4ストローク B3級 VF21AS 4ストローク C1級

消火器 防災備蓄食品 消防服装 船外機 発電機 消防資機材

茨城県代理店

・キワ産業株式会社

水戸市三の丸3丁目7番1号 TEL.029(224)3324(代) FAX.029(224)3360